

教育課程概念図 (データサイエンス学部 データサイエンス学科)

ディプロマ・ポリシー (DP)

データサイエンス学部では、卒業要件単位の取得を通して、以下に示す「確かな専門性」、「社会で実践する力」、「協働できる素養」、「忠恕の心」を身につけた学生に対し、社会で活躍できる「人間力」を備えたものとみなし、学士の学位を授与します。特に学士には、幅広い分野・領域で専門性を発揮するための知識や技能、実践力が求められます。また、知識や技能だけでなく、社会人として活躍するための、自ら課題を発見し、解決していこうとする姿勢や、様々な人と協力して物事に取り組むことのできる素養を必要とします。

確かな専門性 (データサイエンスLCD)

1. データサイエンスが必要とする数学や統計学、科学的方法、計算機科学の基礎を理解している。〈数学・統計学・科学的方法、計算機科学の基礎〉
2. データとその扱いに関する基礎として、データを収集・分析・活用・保存するための基本的な技能を体得し、データのもつ情報、法則、関連性等について理解できる。〈データとその扱いの基礎〉
3. データサイエンスが活用される領域において、データサイエンスによる課題解決に必要となる、データを収集・分析・活用・保存するための適切な方法を選択することができる。〈データサイエンスによる課題解決の方法の選択〉

社会で実践する力

4. 人や社会や地域に関わる課題の明確化や課題の解決に向けて、必要なデータを収集・分析・活用・保存するための方法やプロジェクトを提案することができる。〈データサイエンスによる課題解決・課題探索の方法の提案〉

協働できる素養

6. 対話を通じて他者の意見を聴き、自己の意見を正確に伝えるなど適切なコミュニケーションができる。〈他者とのコミュニケーション〉
7. 社会や企業・組織の中で協調・協働して課題の解決にあたり、自らの役割を果たすことができる。〈他者との協調・協働〉

忠恕の心

8. 常に誠をつくし、人の立場に立って考え、行動することができる。〈忠恕の心〉

